

校訓

正しく 明るく 健やかに

6月15日発行



人との縁

校長 加藤 弓子

「ぼくは品野中が大好きです！ みんなが泊まるペンションのオーナーさんたちに、『品野中の子たちを特別に大切にしていってね』とお願いしておきました！」

修学旅行2日目、河口湖のペンション村で行われた入村式で、代表の中村さんが3年生に向けて語られた言葉です。

中村さんは、45年前に山梨県へ移住し、河口湖でペンションを経営されています。趣味は自転車で、今でも出身地の岡山県へ帰省する際には、4日間かけて自転車で走ることもあるそうです。その中村さんが4年前、自転車で岡山へ向かう途中、品野を通る国道248号線で自転車が故障してしまいました。困っていたところ、学校帰りの中学生のグループに「近くに自転車屋さんはありませんか」と声をかけたそうです。すると生徒たちは、「ありますよ！案内します！」と快く自転車屋さんまで連れて行ってくれました。その生徒たちこそ、品野中学校の生徒だったのです。

このときの出来事が、中村さんの「ぼくは品野中が大好きです！」という言葉につながっています。後で、そのとき訪れた自転車店の名刺まで見せてくださいました。

そんな品野中学校の3年生が、偶然にも修学旅行で中村さんのペンション村に宿泊することになり、中村さん自身も大変驚かれていました。先輩たちの思いやりある行動が、4年という時を越えて今回の温かな出会いにつながったのです。

人との縁は、思いがけないところでつながっています。日頃の何気ない親切やあいさつ、相手を思いやる行動は、自分では気づかないうちに誰かの心に残り、未来の自分たちへ返ってくることがあります。今回の修学旅行は、品野中学校の先輩たちが築いてくれた温かなバトンを感じる機会にもなりました。

また、時期をずらして、2年生は野外活動、1年生は校外学習に出かけました。それぞれの学年が仲間と協力しながら貴重な体験を重ね、多くの学びと思い出をつくることができました。これからも思いやりの心を大切にしながら、一人一人が素敵な出会いと成長を重ねていってほしいと思います。

～学級目標～

各クラスの学級目標の掲示物が完成しました。

クラスの特徴がよく出ています。



1年1組



1年2組



1年3組



2年1組



2年2組



2年3組



3年1組



3年2組



3年3組



A組



「心の痛み」

スクールカウンセラー西真裕

「心が傷つく」という言い方がありますね。でも実際心とはどこにあるのか、心臓なのか脳なのか、魂と呼ばれるものなのか、それとも別のことなのか分かりません。その見えないものが傷ついたことを私達はどのようにして知るのでしょ。そして、傷とはなんなのでしょ。

その答えのひとつは傷ついた時「痛いから」ではないかと思ひます。痛むことで傷がついてると知るのではないでしよ。ズキッとしたりギュッとしたり、その痛みを感じること、私たちは自分の傷を知るのではないかと思ひます。そして自分の痛みや傷を知ること、人を傷つけた時のことが想像できるのではないかと思ひます。

傷つくことは避けられませんが、しかし痛みを知ることは、自分自身や他者を理解する力につながります。映画や本、アニメや絵画、物語や歌に触れて心を動かされる経験もまた、その力を育ててくれる大切な機会なのかもしれません。傷つかない人生はありません。傷を恐れすぎたり、無傷を目指したりするよりも、傷を知ること、そして痛みを知りながら前に進むとすることが、自分や他者を理解する力となり、人を豊かにしていくこともあるのではないかと思ひます。

☆7月8月スクールカウンセラー来校日（在校時間11:30-16:00）

7/3（金） 7/17（金） 8/5（水） 8/28（金）

※カウンセリング内容は生徒さんにかかわることであれば何でも構いません。

ご希望の方は学校までご連絡ください。

